

第4章 熊本県の道路整備の施策展開

4 1 道路整備の施策展開

今後の道路整備については、熊本県道路整備の基本方針（「道路整備の理念」、「道路整備の方針」及び「道路整備の進め方」）に基づき、次の施策展開を図り成果の達成を目指す。

人や自然にやさしい空間の創造

【施策の展開】

地域の歴史や文化、景観、環境や自然条件等を十分把握し、地域の実状、ニーズを踏まえ、道路づくりを行う。

人を中心に置き、歩道、自転車道の整備に重点的に取り組む。

公共施設や福祉施設などが集積しているバリアフリー^()整備計画地区（26地区）における歩道のバリアフリー^()化を進める。

沿道景観及び沿道環境を考えた道路整備を進める。

道路下の浸透性や車両の交通量等を踏まえ、地下水のかん養を念頭に入れた道路構造に努める。

安全で豊かな暮らしの提供

【施策の展開】

県民の生活を守る災害に強い道路づくりを進める。特に平成8年度道路防災総点検において要対策とされた箇所の防災対策や、大規模災害時のライフラインの確保を図るための緊急輸送道路の整備を進める。

救急医療施設や福祉施設等へのアクセスとなる道路整備を進める。

生活者の視点に立ち、利便性の向上、交通安全に資する道路づくりを進める。

道路・交通情報の提供について検討を進め、適正な案内標示によるわかりやすい道路づくりを進める。

豊かな暮らしをはぐくむため、地域の景観や環境の視点から快適な道路空間づくりを進める。

産業活動を支える基盤づくり

【施策の展開】

半導体関連産業等企业集積地周辺のアクセス性を高める道路整備を進める。

国際的な観光拠点となる阿蘇、天草等へのアクセスとなる道路整備を進める。

天草等に代表される水産物、阿蘇の高冷地野菜、熊本平野、八代平野等における蔬菜園芸等に代表される農産物等の生鮮食料品の輸送、販路拡大に結びつく道路の整備を進める。

空港、新幹線駅、主要港湾や高速道路インターチェンジ等の交通拠点へのアクセスの向上を図る道路の整備を進める。

特に、アジアに向けたゲートウェイ^()としての受け皿として、上記交通拠点等と連携し、相互に連絡するマルチモーダル^()となる道路整備を進める。

熊本都市圏、阿蘇・天草の観光地や企業集積地周辺等における交通渋滞ボトルネック^()箇所、早期の効果が期待できる対策について取り組む。

活力ある都市づくりの支援

【施策の展開】

健全な都市の形成を図るため、都市計画区域内について、計画的、体系的な道路整備を進める。

熊本都市圏については、交通円滑化に向けてソフト施策(公共交通機関の利用促進、交通需要マネジメント^()等)とハード施策(2環状11放射道路網を基軸として体系的な道路整備。)との両面から重点的に取り組む。

熊本都市圏の骨格となる外郭を構成する熊本環状道路について、熊本西環状道路を重点的に整備するとともに、国道57号東バイパスの早期事業化に向けた取り組みを重点化する。

九州新幹線熊本駅周辺の広域高速交通結節機能を高める連続立体交差事業を含めた道路整備を重点的に進める。

九州新幹線駅及び主要な在来線駅との交通結節機能を高める道路整備を進める。

地域の交流・連携の強化

【施策の展開】

150分構想^()の実現に向け、県内高規格幹線道路の整備を重点的に進める。

県内各圏域の交流・連携を支援する90分構想^()の実現に向け、地域高規格道路及び幹線道路(熊本阿蘇幹線道路、南関インター荒尾・長洲幹線道路)の整備を重点的に進める。

11の地域における交流・連携を支援する道路の整備を推進する。

合併後の公共団体の活性化に支援となる道路の整備を推進する。